

高尾山子供やまぶし修行体験会

八月七日(日)今年で第十三回目となる、高尾山子供やまぶし修行体験会が、およそ八十人の子供が参加して行われました。

保護者達と別れ、山伏と共に山麓の不動院を出立。琵琶滝では水の勢いに驚くも、元氣よく滝に打たれ、暑さに負けずに、険しい琵琶滝道を登る徒歩修行を行った。午後には様々な色の玉を使って、自分だけのオリジナル腕輪念珠を作り、山麓にて厳修された柴燈護摩供に参加して、念珠のお加持をした。

その後不動院において、保護者の見守る中、修行を終えた証となる、「修了証」が授けられ、無事に帰宅の途に就いた。



元氣にお滝行をします



山伏と共に山中を練行し、オリジナルの腕輪念珠と一緒に作る



京王電鉄株主催 高尾山峰中修行体験合宿

去る八月三日(水)〜四日(木)に、第四十四回高尾山峰中修行体験合宿が京王電鉄株主催にて行われ、約六十名の子供たちが参加した。

子供たちは高尾山頂から、一丁平までを縦走しての自然観察や、室内でのゲーム、早朝には御護摩供・座禅・法話・写経、最後には琵琶滝にて滝行を行い、各修行を通じて心身共にたくましく鍛えられた。



大本堂内で行われた早朝の座禅

芙蓉の思いで

友納あけみ

再開発の始まった豊洲の町！古くからの団地は、あつという間にすっかり壊されて、更地になってしまいました。建物が無くなると、案外の狭さになり、ちよつと吃驚！更地の横の道端に、大きな芙蓉の花が咲きました。

れ持つてきな！と、ちよつと照れくさそうな笑顔で渡してくれました。結構重たい鉢を、泥だらけになりながら持ち帰り、ひと夏の間、我が家のペランダは大きな芙蓉の花が次々に咲いて、本当に楽しませてもらいました。お礼をしたいと、ずつとおじさんの姿を探したのですが、なかなかお会いできず、仕方なく一週間くらいたってから手紙とジュース缶を芙蓉



高尾山境内に咲く芙蓉

去年の夏、暫く見とれていたら、どこからおおじさんが沢山の蕾の付いた芙蓉を植木鉢に入れて持ってきてくれて、「こ

の下にそつと置いておきました。次の日に確かめると無くなつていて、よしよしと、夏の小さな思い出でした。あのおじさんは、何処にいらしたのか？きつと団地を去られる前の、まだ寒い季節、夏になつたら咲くように、芙蓉の苗をここに植えていかれたのだと思います。大輪の真つ赤な芙蓉が風に揺れています。

コンサートのお知らせ

十月六日(木) 友納あけみコンサート 「恋文Ⅳ」

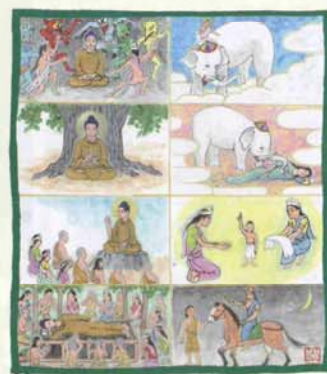
会場 千代田区内幸町ホール

時間 開場18時半 開演19時

お問合せ先 Tel.03-3532-9507

釋尊の物語は 40

句・菅谷秀文



絵・橋本豊治

目で追いつ釈尊八相成道図

釈尊が仏陀になるまでの過程を描かれたものが、八相成道図で、各絵の意味は次の様になる。

- 降兜率 釈尊がこの世に降りてくる
- 入胎 マーヤの胎内に宿る
- 降誕 マーヤの右脇から生まれる
- 出家 城から抜け出し出家する
- 降魔 悪魔の誘惑に打ち勝つ
- 成道 悟りを開き仏陀となる
- 転法輪 法を説いてまわる
- 入滅 八十歳で亡くなる